

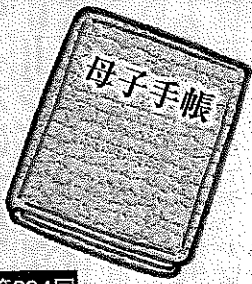
駆け込み需要約22億円) 営業利益は、販管費にセクメント別では化粧品が売上高で23・9%同期と比べ増税駆け込みの化粧品関連事業、米運用(約25億円)に努め減の303億4900万円の22億円が目減りして収となったことが響いた。たほか、販売手数料などが減の30億9100万円、の変動費(約19億円)が栄善補助食品が売上高で15・1%減(国内17・2%減、海外11・4%増)の194億8500円、営業利益で58・9%減の30億9100万円、みを発表し、「直販チャネル(国内)」と「海外」が増収となった(同社)化粧品の上高内訳

エシカルな選択を促し、共生するブランドに

世界的に地球環境問題への取り組みが本格化し、化粧品業界においてもサステナビリティポリシーやSDGsを掲げるメーカーやブランドが増えている。環境問題への取り組みについては、日本は注目を集めている。

さて、日本にも商品を選ぶ際に美容効果への期待と一緒に、環境のことも考えたいといったエシカルな選択が広がってきていることを、R.B.G.が手掛けるナチュラルコスメブランド「エフェラル」が伝えている。2019年春のブランド誕生から、ボディケアトリートメントを軸にエシカル消費を取り込み、ユーザーの要望に応える形でシリーズアイテムを増やしている。

ヒット商品



母子手帳

第294回

「エフェラル ボディケアトリートメント」 R. B. G

「エフェラル」は、(エフェラル)は、



追求め、製品に配合している成分とその由来についてはWeb上で開示している。同社は「毎回、越えなければならぬハードルは高い」としながらも、洗顔料、UVクリーム開発に成功し、今年10月にはリップバーム2種とヘアオイルミストを発売した。発売後は、展示会やイベントを通じて「興味を持ってくださる方が増えてきた」との実感を心得ており、共感価値を生むブランドとして手応えを掴んでいる。

また、同社は非営利型法人である(一社)サチエラエコノミー

effect(効果)とnatural(自然さ)を組み合わせた造語で、95%以上を天然・植物由来成分で構成しつつ、一般の化粧品と同じように3年間品質が保持できることをブランドポリシーに掲げている。パルベン、エタノールフリーで肌をやさしく、サステナブルな化粧品づくりを

ファンケル化粧品は、店舗販売から通信販売への積極的な誘導や、外部通販の大幅な伸長により通信販売は増収となったものの、新型コロナウイルス

追求め、製品に配合している成分とその由来についてはWeb上で開示している。

同社は「毎回、越えなければならぬハードルは高い」としながらも、洗顔料、UVクリーム開発に成功し、今年10月にはリップバーム2種とヘアオイルミストを発売した。発売後は、展示会やイベントを通じて「興味を持ってくださる方が増えてきた」との実感を心得ており、共感価値を生むブランドとして手応えを掴んでいる。

また、同社は非営利型法人である(一社)サチエラエコノミー

踏まえ、下方修正した。海外(22・6%減)の5。売上高は前回公表比70億1000万円、ア

内訳は、通信販売が11・6%増の86億5500万円、店舗販売が48・3%減の35億8900万円、卸販売が18・2%減の57億4600万円、海外が20・4%増の14億9400万円、純利益は同10・8%減、純利益は同10・8%減)を見込む。なお、徐々に戻り、国内顧客も一定程度買い物が

「前計画では、下期以降インバウンド需要が円減の133億円(同7・9%減)を見込む。なお、徐々に戻り、国内顧客も一定程度買い物が

「前計画では、下期以降インバウンド需要が円減の133億円(同7・9%減)を見込む。なお、徐々に戻り、国内顧客も一定程度買い物が

ロレアル

新しい血管網を備えた全層皮膚モデルを発表

公・ロレアルは「美しさと幸せを境界線を越える」というテーマで開催された、同社は、口頭発表部門で7プロジェクト、ポスター部門で34プロジェクトが選出され、中でも「新しい血管網を備えた再構築皮膚モデル」に関する発表が応用研究賞を受賞した。

今年度のIFSCC賞した。

今年度のIFSCC賞した。

今年度のIFSCC賞した。

今年度のIFSCC賞した。